

## ■ 掲示板

### ■ 兵庫県立大学 高度産業科学技術研究所 教員公募

公募人員：教授 1名

所属部門：光応用・先端技術大講座

専門分野：放射光ビームラインの応用研究を推進し、かつ放射光施設ニュースバルでのナノマイクロ加工利用及び新規マイクロシステム実用化の産学連携を推進する業務能力を有する者

応募資格：①博士号取得者、②大学・大学院教育、研究指導にも情熱のある者、③産学連携に十分な実績を持っていること

着任時期：2011年4月1日

提出書類：

①履歴書（写真添付）

②研究業績の概要（1000字程度）

③研究業績リスト（査読あり論文、査読なし論文、国際会議発表、解説、著書、特許、競争的資金など）

④主要論文別刷り 5編（コピー可）

⑤着任後の研究計画及び教育への抱負（各々1000字程度）

⑥紹介可能者2名の氏名・連絡先

応募締切：2010年12月3日（消印有効）

書類提出及び問合せ先：

〒678-1205 兵庫県赤穂郡上郡町光都 3-1-2

兵庫県立大学高度産業科学技術研究所課長 吉田保和 宛

「教員応募書類在中」と朱筆（書類返却不可）

問い合わせ：

兵庫県立大学高度産業科学技術研究所課長補佐 宮本賢一

TEL：0791-58-0249

### ■ 平成23年度前期 高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所 放射光共同利用実験課題公募

募集対象：当施設の放射光および低速陽電子を利用する実験。

主に大学等の研究者を対象としますが、科学研究費補助金の申請資格を有する企業等の基礎研究も対象となります。

応募期限：2010年11月5日（金）

応募要領：

実験課題申請システム <https://pmsweb.kek.jp/k-pas/> を利用した電子申請となります。

申請受付は平成22年10月初旬からの予定です。

具体的な申請書作成等に関する詳細については <http://www.kek.jp/uskek/apply/pf.html> を参照ください。

その他：研究成果は公表していただきます。

予算の範囲内で旅費支給等の便宜供与を行います。

問合せ先：高エネルギー加速器研究機構

研究協力部研究協力課

共同利用支援室共同利用係

TEL：029-864-5126

E-mail：kyodo1@mail.kek.jp

## ■ 会告

### ■ 日本放射光学会第87回評議員会議事録

日時：2010年7月10日（土） 14：00～16：00

場所：理研東京連絡事務所 会議室

出席者：足立伸一（編集幹事）、雨宮健太、雨宮慶幸、石川哲也、太田俊明、尾嶋正治（会長）、河田 洋、木下豊彦、木村真一（会計幹事）、坂田 誠、下村 理、辛 埴、田中 均、中井 泉、野村昌治、間瀬一彦、水木純一郎（渉外幹事）、村上洋一、八木直人、山本雅貴、横山利彦、渡辺 巖、渡邊信久 各評議員、原田慈久（庶務幹事）、木村 滋（行事幹事）

欠席者：柿崎明人、北村英男、小杉信博、繁政英治、谷口雅樹、中川和道、生天目博文

事務局：佐藤亜己奈（WORDS）

〈審議事項〉

#### 1. 協賛・後援について

原田庶務幹事より本学会に対する協賛・後援・共催依頼について報告があり、協賛13件、後援3件、共催1件、協力1件を承認した。

#### 2. 会員異動（入会）

原田庶務幹事より、第86回評議員会以降の入会申請者に関して、正会員23名（うち学生会員11名）報告があり、これを承認した。また、シニア会員3名の推薦があり、これを承認した（総会で正式に承認する）。

#### 3. AOFSSR 基金設立と放射光学会 AOFSSR 協力口設置について

AOFSSR より財政基盤を確立するために AOFSSR 基金を設立することが提案された。メール審議の結果、学会として賛同することとなり、7月6日に開催された第5回 AOFSSR Council Meeting において、学会がこの提案を支持する意向が伝えられた。他の Council Member である6カ国からも賛同の意志が表明されたことが報告された。また学会の役割を明確にするための申し送り事項案が検討され、AOFSSR 協力口（仮名）を設立することが提案された。審議の結果、協力口を設立することを承認し、具体的な運営方針については各放射光施設と協議の上決定することとなった。

## 〈報告事項〉

1. 第15回学会奨励賞応募状況  
原田庶務幹事より第15回学会奨励賞の応募状況について報告があった。
2. 次期評議員選挙開票結果  
原田庶務幹事より、次期評議員選挙の結果について報告があった。次期評議員（15名）は下記の通り決定した。  
次期評議員（敬称略、あいうえお順）：朝倉清高，足立純一，大橋浩彦，加藤政博，小林克己，佐々木 聡，澤 博，大門寛，高田昌樹，竹田美和，平井康晴，藤森 淳，宮原恒昱，柳下 明，若槻社市
3. JSR11の準備状況  
木村行事幹事より第24回・年会・合同シンポ（JSR11）の準備状況（組織委員会，プログラム委員会，実行委員会，予算案）について説明があった。今回から事前発送を廃止する代わりに，ホームページにアブストラクトをPDFで掲載する方針が説明された。
4. 第2回放射光基礎講習会準備状況  
木村行事幹事より第2回放射光基礎講習会「入門者のための放射光技術」の準備状況について報告があった。開催日は2010年8月17日-18日，場所は東京大学本郷キャンパス工学部5号館52号講義室，テキストとして「放射光ビームライン光学技術入門」を使用する。また第2回放射光基礎講習会にあわせて，行事委員を選出した。すでに40名以上の参加申し込みがあるが，さらに多くの参加者（特に学生）を募りたい旨の説明があった。
5. 第2回若手研究会準備状況  
木村行事幹事より第2回若手研究会「顕微分光のフロンティア」の準備状況について報告があった。開催日は2010年8月3日-4日，場所は東京大学本郷キャンパス工学部1号館15号講義室，参加費は無料。
6. 会誌編集・ブルーバック進捗状況  
足立編集幹事より会誌の進捗状況，「検出器」シリーズの単行本出版検討状況，次期シリーズの検討状況について説明があった。またブルーバック出版の進捗状況について，5月末に講談社に第1稿を送付し査読中であるが，全般的にかなり専門的であるため大幅な改訂が必要であるとの報告がなされた。
7. 文部科学省：第6回放射光施設連絡会議報告  
尾嶋会長より2010年3月31日に開催された第6回放射光施設連絡会議について報告があった。
8. 学術会議「26学会共同シンポジウム」報告  
尾嶋会長より2010年4月28日に開催された学術会議「26学会共同シンポジウム」について報告があった。
9. 放射光学会将来計画特別委員会，第3回光源WG報告  
水木渉外幹事（特別委員会委員長）より，放射光科学ビジョン・ロードマップ作成のために設置された放射光学サイエンス将来計画特別委員会について報告された。2010年6月12日に第1回委員会を開催したこと，また10月頃に第2回委員会を開催し，JSR11の総会にて中間報告を行う予定であることが報告された。また雨宮評議員（WG委員長）より，2010年6月5日に開催された第3回放射光光源計画WGに

ついて報告がなされた。特別委員会やWGの議事録については，会誌やホームページ等に掲載することとした。

10. AOFSSR2010活動報告，Cheiron School 2010進捗報告  
水木渉外幹事より2010年7月5日-9日に韓国で開催された第5回AOFSSRについて報告があった。Cheiron School 2010は2010年10月9日-18日にSpring-8で，第6回AOFSSRは2011年10月24日-26日にタイで開催予定。
11. 科学研究費分科細目「量子ビーム科学」設置について  
平成20，21，22年度に時限付き分科細目として認可されていた分科細目「量子ビーム科学」について，平成25年度の科学研究費補助金分科細目見直しに合わせて，通常の分科細目として要望する旨につきメール審議を行い，学会として賛同することとなった。これに関連して，日本学術振興会が科学研究費補助金「系・分野・分科・細目表」に関する意見募集を行っており，放射光学会からも意見を提出することとした。
12. 会員異動（退会）  
原田庶務幹事より第86回評議員会以降の退会申請者に関して正会員14名（うち学生会員5名）との報告があった。2010年7月10日現在の総会員数は1,335名（うち学生会員135名），シニア会員3名，賛助会員47社49口。
13. 猿橋賞の学会誌推薦について  
原田庶務幹事より「第31回女性科学者に未来をの会（猿橋賞）」受賞候補者推薦の依頼について説明があった。
14. 学会ホームページ対応  
原田庶務幹事より学会ホームページのオンライン入会申込みにおけるセキュリティエラーの問題を解決するため，ドメイン認証型デジタル証明書を取得し，SSL通信が可能となったこと，また，現行2GBから40GBへサーバのハードディスクの増強が行われたことが報告された。

## ■会員異動

## 第87回評議員会（2010年7月10日）で承認

## 《正会員入会》

- |       |                                     |
|-------|-------------------------------------|
| 富永 亜希 | 九州シンクロトン光研究センター                     |
| 中野 博明 | 兵庫医療大学                              |
| 永村 直佳 | 東京大学工学系研究科応用化学専攻尾嶋研究室               |
| 橋本 浩一 | 理研播磨研究所 放射光科学総合研究センター<br>利用システム開発部門 |
| 白木 将  | 東北大学原子分子材料科学高等研究機構・一杉研              |
| 佐藤 宗太 | 東京大学大学院工学系研究科応用化学専攻藤田研究室            |
| 木村 千里 | 帝京大学 医療技術学部 診療放射線学科                 |
| 尾崎 俊幸 | 高エネルギー加速器研究機構 加速器研究施設<br>加速器第7系     |
| 有馬 孝尚 | 東北大学多元物質科学研究所有馬研究室                  |
| 野尻 浩之 | 東北大学金属材料研究所                         |
| 次田 友暁 | 株式会社 ASICON                         |
| 関口 博史 | 東京大学大学院新領域創成科学研究科物質系専攻<br>・佐々木研     |

以上12名

《学生会員入会》

木下 淳 東京工業大学総合理工学研究科材料物理科学専攻  
佐々木研究室  
大久保佳奈 東京大学工学部応用化学科尾嶋研  
黒角 翔大 東京大学工学系研究科応用化学科尾嶋研究室  
並木 武史 東京大学工学系研究科応用化学科尾嶋研究室  
木内 久雄 東京大学工学部応用化学科尾嶋研究室  
玉光 雅智 東京大学工学部応用化学科尾嶋研究室  
中田 耕次 東京大学工学部応用化学科尾嶋研究室  
市川 雄一 東京大学工学部応用化学科尾嶋研究室  
谷垣 圭亮 東京大学工学部応用化学科尾嶋研究室  
深澤 拓也 東京大学大学院新領域創成科学研究科百生研究室  
鈴木 祥仁 東京大学大学院

以上11名

《シニア会員入会》

難波 孝夫  
河野 省三  
山本 正樹

以上3名

《退会会員》

正会員9名, 学生会員5名

《会員数》

会員1335名 (内学生135名) シニア会員3名  
賛助会員47社 (49口)

一口メモ

トルコキキョウ

花がキキョウに似ているのでトルコキキョウと呼ばれているが、原産はトルコではなく、北アメリカ原産のリンドウ科ユーストマ属の植物で、秋播きで、霜にあたらないようにして、越冬させる。花が蕾のときにトルコ人がかぶるターバンに似ているのでこのように命名されたといわれている。八重咲きやふく輪咲きなどの優雅な種類もあり、長楕円形、卵形の明るい緑の葉が花とよく似合うので、切り花として多用されている。

本夏は猛烈な暑さ続きで、雑草も枯れてしまった箇所も随所に見かけられましたが、9月の半ば過ぎには秋の涼しさが戻ってきました。それとともに、早朝の散歩では、道沿いに真っ赤な彼岸花が見られ、また行きかう人の多くはさまざまな種類の犬を引き連れていますので楽しみが増します。夕食後には、スズムシ、マツムシ、コウロギの音色を聴きながら、中勘助著「銀の匙」、竹山道雄著「ビルマの竖琴」をはじめとする以前に読んだ文庫本を読みながら秋の夜長を過ごしています。

(No. 95, K. Ohshima)



## ■行事予定

開催月日	名 称	開 催 地	主催又は問い合わせ先	掲載巻・号
2010年 10/8	日本磁気学会第174回研究会/第38回化合物新磁性専門研究会共催「スピン・クロスオーバーの物理」	中央大学駿河台記念館 320号室	日本磁気学会 E-mail: msj@bj.wakwak.com	23・4
10/11-14	第7回非弾性 X 線散乱国際会議 (IXS2010)	World Trade Center Grenoble	ESRF and Politecnico Milano	23・5
10/19-20	第50回 表面科学基礎講座 表面・界面分析の基礎と応用	大阪大学 コンベンションセンター	(株)日本表面科学会	23・5
10/20-22	第51回高圧討論会	仙台市戦災復興記念館	日本高圧力学会 E-mail: words@highpressure.jp	23・3
10/22-23	第46回 X 線分析討論会	広島県情報プラザ多目的ホール	(株)日本分析化学会 X 線分析研究懇談会 E-mail: hayakawa@hiroshima-u.ac.jp	23・3
10/25-29	The 6th International Workshop on Nano-Scale Spectroscopy and Nanotechnology 《NSS6》 「第6回ナノスケール分光及びナノテクノロジー国際会議」	神戸大学 六甲ホール	財団法人高輝度光科学研究センター (JASRI), 独立行政法人理化学研究所, 神戸大学 E-mail: nss6@spring8.or.jp	23・3
11/4-6	真空・表面科学合同講演会 第30回表面科学学術講演会と第51回真空に関する連合講演会	大阪大学吹田キャンパス コンベンションセンター・体育館	日本真空協会事務局 E-mail: ofc-vs@vacuum-jp.org (株)日本表面科学会事務局 E-mail: goudou10@sss.org	23・4
11/19	実用表面分析セミナー2010	神戸大学 百年記念館六甲ホール	日本表面科学会関西支部 E-mail: Mie.Utsunomiya@nsg.com	23・5
12/4	第2回 SPring-8 次期計画2019シンポジウム～光科学の明日～	東京学術総合センター 中会議室	(株)理化学研究所, (株)高輝度光科学研究センター E-mail: 2019symposium@spring8.or.jp	23.5
12/7-8	物構研シンポジウム '10 「量子ビーム科学の展望」	つくば国際会議場	高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所 E-mail: imss-sympo@pfiqst.kek.jp	23.5
2011年 5/22-27	第8回新材料とデバイスに対する原子レベル・キャラクタリゼーションに関する国際会議 (ALC '11)	韓国・ソウル, Olympic Parktel	(株)日本学術振興会マイクロビームアナリシス第141委員会 E-mail: alc11@jpsps141.surf.nuqe.nagoya-u.ac.jp	23・4

本欄では、研究会、シンポジウム、国際会議等のお知らせを募集しております。掲載ご希望の方は事務局までご連絡下さい。一記事の長さは1/2ページ以下を目安とし、様式は事務局で変更させて頂く場合がございます。

## ■第7回非弾性 X 線散乱国際会議 (IXS2010)

非弾性 X 線散乱国際会議はほぼ3年おきに欧州、北米、日本の持ち回りで開催されてきた。今回で第7回となる同会議 (IXS2010) はフランス、グルノーブルで開催される。IXS2010 には非弾性 X 線散乱分野の研究者が世界中から集い、非弾性 X 線散乱実験手法とその応用に関する最新の成果と将来展望について意見交換が行われる。具体的には、共鳴・非共鳴非弾性散乱、発光分光、meV 非弾性散乱、核共鳴散乱、コンプトン散乱、熱散漫散乱などの手法が取り上げられ、固体・液体の電子構造、格子・原子振動、磁気構造などの最新のテーマについて議論される。

主催：ESRF and Politecnico Milano

日時：2010年10月11日(月)~10月14日(木)

場所：World Trade Center Grenoble

HP：<http://www.esrf.eu/events/conferences/ixs2010/ixs-2010>

## ■第50回 表面科学基礎講座 表面・界面分析の基礎と応用

表面・界面分析技術はめざましく進歩し、学術的研究はもとより、産業界における研究開発や品質評価などに盛んに利用されています。本講座は、表面・界面分析の初心者、若手研究者、技術者を対象として、表面・界面分析の基礎と応用を入門的かつ具体例を豊富に挙げて解説することを目的として、年2回(関東地区および関西地区)実施しています。

また、内容の理解をたすけるために、各講演で演習を行う予定にしております。各講演の概要はホームページをご覧ください。表面科学基礎講座へ多数の方々の参加をお待ちしております。

主催：(財)日本表面科学会

協賛：日本放射光学会、他

日時：2010年10月19日(火)~10月20日(水)

場所：大阪大学 コンベンションセンター

大阪府吹田市山田丘1-1 TEL 06-6879-7171(代表)

・大阪モノレール 阪大病院前駅下車 徒歩：10分

参加定員：100名

受講料(テキスト代、消費税を含む)：

表面科学会正会員20,000円

表面科学会維持会員20,000円

表面科学会賛助会員25,000円

協賛学協会会員30,000円

表面科学会学生会員3,000円

学生(非会員)5,000円

その他35,000円

申込締切：2010年10月8日(金)

申込方法：

URL (<http://www.sssj.org/KisoKouza/kiso50.html>) でお申し込み下さい。(尚、電子メール、FAX 又はハガキでのお申し込みも可能です。その場合、以下の情報をご記入の上、事務局宛にお申し込み下さい。)

(1) 「第50回表面科学基礎講座申込」

(2) 氏名(ふりがなをつけて下さい。)

(3) 勤務先 所属

(4) 勤務先所在地(〒付記) TEL/FAX/E-mail

(5) 自宅住所(〒付記) TEL/FAX/E-mail

(6) 連絡先(自宅または勤務先のいずれかを指定)

(7) 申込資格(上記の参加費表の区分、所属学会等)

払込方法：

(1) 申込を受け付け次第、振込用紙をお送りします。

受講者1名につき必ず一枚の振込用紙をご使用下さい。

(2) 振込用紙の半券をもって領収書に替えさせていただきます。

(3) 勝手ながら受講料の払い戻しは行いません。

ご都合の悪くなった場合には、代理の方の受講をお願いします。

## ■実用表面分析セミナー2010

表面分析の実務者やより進んだ表面分析を模索しておられる方を対象。表面分析の解析技術のノウハウやヒント、最新の分析技術の紹介。

主催：日本表面科学会関西支部

日時：2010年11月19日(金) 10:00-17:20

会場：神戸大学 百年記念館六甲ホール(神戸市灘区)

参加費：

無料(但し、テキスト代は第50回表面科学基礎講座受講者および表面科学会会員には無料配布、その他一般の方で希望される方は2,000円、学生1,000)

申し込み&ホームページ：

[http://www.sssj.org/Kansai/kansai\\_jitsuyou13.html](http://www.sssj.org/Kansai/kansai_jitsuyou13.html)

問合せ先：宇都宮三恵

日本板硝子テクノロジー株式会社

〒664-8520 兵庫県伊丹市鴻池2-13-12

TEL：(072)781-7251

FAX：(072)781-7132

e-mail：Mie.Utsunomiya@nsg.com

## ■第2回 SPring-8 次期計画2019シンポジウム~光科学の明日~

SPring-8 では、2019年を目処に新たな利用研究を支える硬 X 線放射光源として生まれ変わるべく、2008年にワーキンググループを発足させ、次期計画の実現に向けて検討を進めています。昨年6月に開催された第1回シンポジウムでは、本計画の概要が公開されるとともに、数10年先を見越した将来の光科学の可能性について幅広い視点から活発な議論が行われました。また、利用者をはじめとする多くの出席者からは様々な提言がなされました。

第2回を迎える今回は、前回のシンポジウム以降のワーキンググループによる具体的な検討に基づき、次期計画の方向性を打ち出すことを目的とします。利用計画および光源開発案の最新状況を報告し、出席者と意見交換を行うことで、計画を堅固なものにしていきます。SPring-8 の利用者はもとより、新たな光科学や放射光源の開発に興味をお持ちの方々に至るまで、多くのご参加をお待ちしております。

主催：(財)理化学研究所、(財)高輝度光科学研究センター

日時：2010年12月4日(土)

場 所：東京学術総合センター 中会議室  
 (東京都千代田区一ツ橋 2 丁目 1 番 2 号)  
 アクセス：<http://www.zam.go.jp/i00/i0000000.htm>  
 定 員：シンポジウム150名  
 ※定員になり次第締め切らせていただきます。  
 参加費：無料  
 申込方法：9月30日(木) WEB 登録受付開始  
 申込締切：11月30日(火)  
 HP：<http://www.spring8.or.jp/ja/users/meeting/2010/2019symposium/>  
 問合せ先：  
 勸高輝度光科学研究センター  
 SPring-8 次期計画2019シンポジウム事務局  
 TEL：0791-58-0839 FAX：0791-58-0988  
 E-mail：2019symposium@spring8.or.jp

## ■物構研シンポジウム '10「量子ビーム科学の展望」

物構研は、加速器を用いた量子ビーム(放射光・中性子・ミュオン・低速陽電子)を、共同利用として多くのユーザーに提供していますが、その研究環境は大きく変わりつつあります。J-PARCの物質・生命科学実験施設では、世界最高強度の中性子・ミュオンを用いた利用研究が開始され、優れた成果が創出されつつあります。一方PFにおいては、5 GeV クラスのエネルギー回収型リニアック(ERL: Energy Recovery Linac)の実現を目指して、様々な研究開発が行われています。今年度の物構研シンポジウムでは、「量子ビーム科学の展望」をテーマとして、このような物構研の提供する量子ビームの将来展望について、ご議論頂きたいと考えています。

シンポジウム初日には、ERL計画に関する準備状況の報告や、今後さらに大強度化するJ-PARCでの中性子・ミュオン施

設における将来構想の報告を予定しています。また、PETRA III や FLASH という先端的放射光源を持つドイツ電子シンクロトロン(DESY)から数名の研究者を招待し、Euro-FELを含めたDESYの将来計画についてお話を頂きます。2日目には、これらの将来光源の利用を視野に入れ、電子相関物性・局所構造物性・超分子構造物性に関する研究の将来展望を議論して頂く予定です。PFユーザーの皆様には、是非ご参加いただけますよう、お願い申し上げます。

主 催：高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所  
 協 賛：日本放射光学会、他

日 時：2010年12月7日(火)~8日(水)

場 所：つくば国際会議場(エポカルつくば)

参加費：無料

参加申込方法：

シンポジウムホームページの参加申込フォームにてお申込下さい。旅費のサポート、宿泊を希望される方は11月5日(金)までにお願いします。旅費、宿泊を伴わない参加申込は当日まで受け付けます。

ポスターセッション：

ポスター発表を希望の方はシンポジウムホームページ参加申込フォームよりご応募下さい。

ポスター発表申込締切：10月22日(金)

ポスター要旨締切：11月5日(金)

懇親会：12月7日(火) 18:30-20:30

つくば国際会議場 多目的ホールにて。

会費は一般5000円、学生3000円を予定。

問合せ先：

物構研シンポジウム '10事務局 (imss-sympo@pgfiqst.kek.jp)

シンポジウムホームページ：

<http://imss-sympo.kek.jp/2010/>

## ● 会誌オンライン利用方法に関するご案内

編集委員長 足立伸一  
 渉外幹事 水木純一郎

オンライン会誌にアクセスするには、放射光学会のトップページにある会員専用ボタンをクリックし、会員専用ページにアクセスする必要があります。

会員専用ページにアクセスするためのユーザー ID とパスワードは

User ID : jsr235

Password : Et7bs2sp

です。このユーザー ID とパスワードは、次号が発行された後に失効します。

会員専用ページにある、学会誌「放射光」のオンライン閲覧をクリックして頂ければ、オンライン会誌を従来通りご覧頂くことができます。

会員以外の方へのパスワード漏洩は禁止いたします。また、記事の著作権は日本放射光学会にありますので、転載等のご希望に関しては、必ず事務局までご連絡下さい。良識あるご利用で、会員の皆様のお役に立てれば幸いです。

ホームページに関して問題等ございましたら、水木(mizuki.junichiro@jaea.go.jp)までご連絡下さい。オンライン会誌に関するご連絡は、足立(shinichi.adachi@kek.jp)までお願いします。